



平成20年3月期 第1四半期財務・業績の概況

平成19年7月26日

上場会社名 クリナップ株式会社
 コード番号 7955
 代表者 代表取締役社長 井上 強一
 問合せ先責任者 執行役員経理部長 田中 仁

上場取引所 東証第一部
 URL <http://cleanup.jp/>

TEL 03 (3894) 4771

(百万円未満切捨て)

1. 平成20年3月期第1四半期の連結業績(平成19年4月1日 ~ 平成19年6月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第1四半期	25,815	△ 4.6	△ 450	—	△ 459	—	△ 627	—
19年3月期第1四半期	27,065	△ 2.9	348	△ 57.2	313	△ 58.1	56	△ 83.7
19年3月期	122,781	—	4,139	—	3,962	—	1,865	—

	1株当たり四半期(当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
20年3月期第1四半期	△ 12.83	—
19年3月期第1四半期	1.15	—
19年3月期	38.17	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年3月期第1四半期	84,898	59,512	70.1	1,217.53
19年3月期第1四半期	86,616	59,424	68.5	1,214.48
19年3月期	86,950	60,595	69.7	1,239.69

2. 配当の状況

	1株当たり配当金
	第1四半期末
(基準日)	円 銭
19年3月期第1四半期	—
20年3月期第1四半期	—

3. 平成20年3月期の連結業績予想(平成19年4月1日 ~ 平成20年3月31日)【参考】

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
中間期	56,600	△ 3.2	△ 900	—	△ 1,000	—	△ 1,400	—	△ 28.64	
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

通期業績予想につきましては、第2四半期の推移を判断の上、追って公表いたします。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)： 無

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無： 有

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無： 無

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

【参考】個別業績の概要

1. 平成20年3月期第1四半期の個別業績(平成19年4月1日～平成19年6月30日)

(1) 個別経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第1四半期	25,002	△ 5.2	△ 505	—	△ 162	—	△ 270	—
19年3月期第1四半期	26,372	△ 3.1	211	△ 68.3	340	△ 58.7	157	△ 67.7
19年3月期	119,582	—	3,211	—	3,255	—	1,438	—

	1株当たり四半期(当期)純利益
	円 銭
20年3月期第1四半期	△ 5.53
19年3月期第1四半期	3.23
19年3月期	29.43

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年3月期第1四半期	82,816	58,662	70.8	1,200.16
19年3月期第1四半期	84,874	58,686	69.1	1,200.63
19年3月期	84,171	59,389	70.6	1,215.02

2. 平成20年3月期の個別業績予想(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
中間期	55,000	△ 3.5	△ 1,000	—	△ 800	—	△ 1,200	—	△ 24.55
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

通期業績予想につきましては、第2四半期の推移を判断の上、追って公表いたします。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 平成19年5月8日に公表いたしました連結および個別の業績予想は、中間期は本資料において修正し、通期は追って公表いたします。
- 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。
なお、業績予想の前提となる仮定および業績予想のご利用にあたっての注意事項について、および上記1に係る業績予想の具体的修正内容は3ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期のわが国経済は、企業収益の改善と設備投資の拡大が続き、雇用情勢の改善と所得の緩やかな増加等により個人消費にも明るさが見られ、景気は徐々に拡大しつつ推移しております。

住宅市場におきましては、新設住宅着工戸数が、前期に回復の兆しを見せたものの伸び悩みが続き、総計では2ヶ月連続、持家では4ヶ月連続で前年同月を下回りました。

住宅設備機器業界におきましては、新設住宅着工戸数の伸び悩み、さらにリフォーム需要の顕在化出遅れから中・高級品クラスが低迷し、システムキッチン、システムバスルームおよび洗面化粧台とも、普及品クラスの伸長により、前期並の出荷数を維持する状況が続いております。

このような中で当社は、全国のショールームを活用したリフォームフェアを推進し、需要の獲得に努めてまいりましたが、主力の高級品クラスのシステムキッチン「S. S.」は前年同期比大幅減となり、中・高級品クラスのシステムキッチン「クリンレディ」も前年を下回りました。またシステムバスルームは、今年2月にモデルチェンジした「アクリア」は伸長したものの、トータルでは前年を下回り、洗面化粧台も2月発売の新製品が好調なものの全体では前年割れの結果となりました。

以上の結果、当第1四半期の連結業績は、売上高258億1千5百万円、営業損失4億5千万円、経常損失4億5千9百万円、四半期純損失6億2千7百万円と前年を大きく下回りました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末の財政状態は、以下のとおりであります。

資産合計は84,898百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,052百万円減少いたしました。その主な要因は、売上債権が3,487百万円減少、たな卸資産が1,646百万円増加したこと等によるものであります。

負債合計は25,385百万円となり、前連結会計年度末に比べ969百万円減少いたしました。その主な要因は、確定納付による未払法人税等が771百万円減少したこと等によるものであります。

純資産合計は59,512百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,083百万円減少いたしました。その要因は、当四半期純損失の計上627百万円、配当金の支払い488百万円による減少であります。

この結果、自己資本比率は70.1%(前連結会計年度末比0.4%上昇)となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、景気は、米国経済や原油高はじめ国内外の懸念材料を抱えつつも、堅調に回復を続けるものと予想されます。しかしながら、住宅設備機器業界におきましては、新設住宅着工戸数の大幅な伸びは見込めず、リフォーム需要も顕在化の契機を見いだせず推移していることから、限られた需要をめぐる競争がさらに激化し、一層の厳しさが増すものと思われまます。

こうした状況の下で当社は、主力である高級品クラスのシステムキッチン「S. S.」および中・高級品クラスのシステムキッチン「クリンレディ」を平成19年9月受注分よりフルモデルチェンジを行い、全国ショールームの展示リニューアルにより積極的な販売活動を推進してまいります。また、昨年11月に発足させた、全国リフォーム店組織「水まわり工房」によるリフォームイベントを継続的に実施し、リフォーム需要の喚起と獲得に努めてまいります。

以上により、中間期の連結および個別の業績予想につきましては、第1四半期業績を鑑み、平成19年5月8日発表の業績予想を下方修正させていただきます。

なお、通期業績予想につきましては、第2四半期の推移を判断の上、追って公表いたします。

(中間期)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	59,500	1,000	900	260	5.32
今回修正予想(B)	56,600	△ 900	△ 1,000	△ 1,400	△ 28.64
増減額(B-A)	△ 2,900	△ 1,900	△ 1,900	△ 1,660	△ 33.96
増減率(%)	△ 4.9	—	—	—	—
前中間期実績	58,474	1,833	1,737	881	18.03

4. その他

(1)期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2)会計処理の方法における簡便な方法の採用

法人税等の計上基準 法定実効税率をベースとし、重要な永久差異等を考慮した簡便な方法により計算しております。

(3)最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

該当事項はありません。

5. (要約)四半期連結財務諸表

(1)(要約)四半期連結貸借対照表

(単位:百万円、%)

科 目	前年同四半期末	当四半期末	増 減		(参考)前期末
	〔平成19年3月期〕 第1四半期末	〔平成20年3月期〕 第1四半期末	金 額	増減率	(平成19年3月期末) 金 額
(資産の部)					
I. 流動資産	53,291	53,075	△ 216	△ 0.4	54,984
現金及び預金	14,434	15,309	874		15,827
受取手形及び売掛金	27,797	27,050	△ 747		30,537
有価証券	806	1,307	500		807
たな卸資産	5,605	4,951	△ 653		3,305
繰延税金資産	821	835	14		834
その他	3,890	3,691	△ 198		3,741
貸倒引当金	△ 64	△ 70	△ 5		△ 68
II. 固定資産	33,324	31,822	△ 1,501	△ 4.5	31,965
(1)有形固定資産	22,886	22,292	△ 594	△ 2.6	22,273
建物及び構築物	10,628	10,103	△ 525		10,242
機械装置及び運搬具	3,305	3,059	△ 245		3,109
工具・器具及び備品	2,152	1,981	△ 170		2,118
土地	6,779	6,654	△ 124		6,748
建設仮勘定	20	493	472		53
(2)無形固定資産	3,431	2,864	△ 567	△ 16.5	3,024
ソフトウェア	2,618	2,588	△ 30		2,711
ソフトウェア仮勘定	663	127	△ 535		165
その他	150	148	△ 1		148
(3)投資その他の資産	7,006	6,666	△ 340	△ 4.9	6,667
投資有価証券	3,039	3,207	168		2,952
繰延税金資産	764	540	△ 223		562
その他	3,556	3,294	△ 262		3,545
貸倒引当金	△ 353	△ 309	43		△ 326
投資損失引当金	—	△ 67	△ 67		△ 67
資産合計	86,616	84,898	△ 1,718	△ 2.0	86,950

(単位:百万円、%)

科 目	前年同四半期末	当四半期末	増 減		(参考)前期末
	〔平成19年3月期〕 第1四半期末	〔平成20年3月期〕 第1四半期末	金 額	増減率	(平成19年3月期末) 金 額
(負債の部)					
I. 流動負債	21,800	20,141	△ 1,659	△ 7.6	22,136
買掛金	7,355	7,079	△ 275		6,925
短期借入金	1,500	—	△ 1,500		1,500
1年以内返済予定の長期借入金	1,735	1,819	84		1,632
未払金	7,981	8,791	810		8,925
その他	3,228	2,450	△ 778		3,152
II. 固定負債	5,390	5,244	△ 145	△ 2.7	4,218
長期借入金	2,114	2,295	180		909
その他	3,275	2,949	△ 326		3,309
負債合計	27,191	25,385	△ 1,805	△ 6.6	26,355
(純資産の部)					
I. 株主資本	58,308	58,512	204	0.4	59,628
資本金	13,267	13,267	—	—	13,267
資本剰余金	12,351	12,351	—	—	12,351
利益剰余金	32,752	32,957	204	0.6	34,073
自己株式	△ 62	△ 63	△ 0	0.7	△ 63
II. 評価・換算差額等	1,055	999	△ 55	△ 5.3	966
その他有価証券評価差額金	1,055	999	△ 55	△ 5.3	966
III. 少数株主持分	61	—	△ 61	—	—
純資産合計	59,424	59,512	87	0.1	60,595
負債及び純資産合計	86,616	84,898	△ 1,718	△ 2.0	86,950

(2)(要約)四半期連結損益計算書

(単位:百万円、%)

科 目	前年同四半期 〔平成19年3月期〕 第1四半期	当四半期 〔平成20年3月期〕 第1四半期	増 減		(参考)前期 (平成19年3月期)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
I. 売上高	27,065	25,815	△ 1,250	△ 4.6	122,781
II. 売上原価	17,202	16,716	△ 485	△ 2.8	80,722
売上総利益	9,863	9,098	△ 764	△ 7.8	42,059
III. 販売費及び一般管理費	9,515	9,549	34	0.4	37,920
営業利益又は営業損失(△)	348	△ 450	△ 798	—	4,139
IV. 営業外収益	163	185	22	13.9	657
受取利息	1	17	16		23
仕入割引	97	90	△ 6		415
その他	64	77	12		217
V. 営業外費用	197	194	△ 2	△ 1.2	834
支払利息	12	10	△ 2		46
売上割引	175	174	△ 0		757
その他	8	9	0		30
経常利益又は経常損失(△)	313	△ 459	△ 773	—	3,962
VI. 特別利益	1	16	14	986.2	115
VII. 特別損失	97	99	1	1.7	690
税金等調整前 四半期(当期)純利益又は純損失(△)	217	△ 542	△ 760	—	3,386
税金費用	163	84	△ 78	△ 48.4	1,523
少数株主損失	△ 1	—	1	—	△ 2
四半期(当期)純利益又は純損失(△)	56	△ 627	△ 683	—	1,865